

斑鳩町の歴史まちづくりに関する取り組みについて

近畿歴史まちづくりサミット in 奈良斑鳩

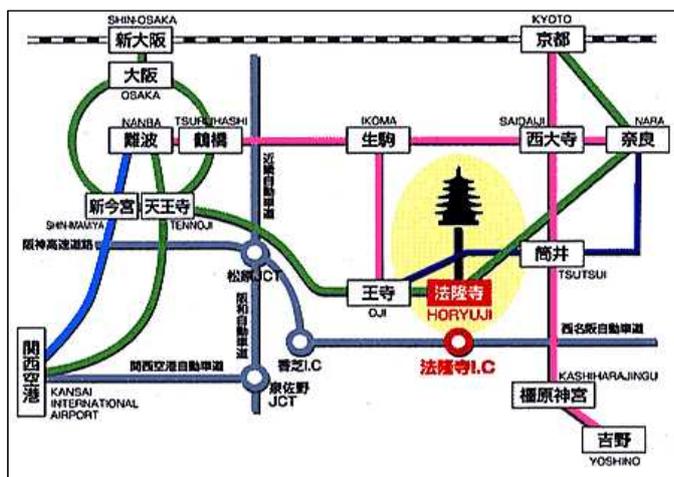


平成29年2月18日

斑鳩町長 小城 利重

斑鳩町の概要

- 誕生：昭和22年2月11日
- 人口：28,298人
(平成28年12月31日現在)
- 面積：14.27km²
- 文化財
 - 【国宝】
 - 法隆寺：18件（建造物）
 - 法起寺：1件（建造物）
 - 【世界文化遺産】
 - 「法隆寺地域の仏教建造物」
 - 平成5年に日本で初めて登録



色濃く残る『歴史的町並み』



紅葉の名所『竜田川』

斑鳩町の課題

【景観面】

- 歴史的建造物の老朽化
- 空き家の発生
- 町並みの連続性の消失

【観光面】

- 法隆寺観光を中心とした「拠点通過型観光」
- 地域経済への波及効果が低い

歴史的町並みの保全と活用
「まちあるき観光」の推進

『斑鳩町歴史的風致維持向上計画』

- 認定：平成26年2月14日
- 面積：約1,427ha（町域）
（うち、重点区域：約82ha）

『法隆寺周辺地区特別用途地区』

- 指定：平成26年10月1日
- 面積：約25ha

斑鳩町歴史的風致維持向上計画

斑鳩町の歴史的風致

●法隆寺を中心とした歴史的風致

(1) 『受け継がれてきた仏教信仰』に関連する歴史的風致

- ①西円堂の「鬼追式」にみる歴史的風致
- ②聖霊院の「お会式」にみる歴史的風致
- ③西室の「夏安居」と「法隆寺夏季大学」にみる歴史的風致

●法隆寺周辺の歴史的風致

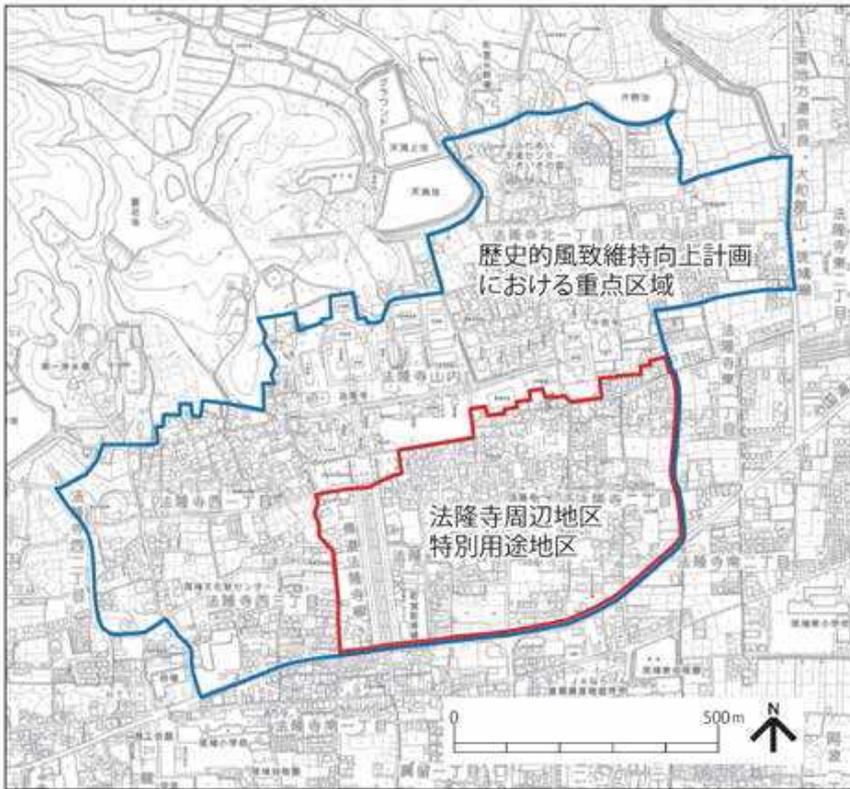
(2) 『暮らしに息づく歴史と文化』に関連する歴史的風致

- ④斑鳩神社の秋祭りにみる歴史的風致
- ⑤西里の愛宕講など民間信仰にみる歴史的風致
- ⑥龍田神社の秋祭りにみる歴史的風致
- ⑦吉田寺の「放生会」にみる歴史的風致



歴史的風致の維持及び向上を図るため、
17事業を推進

区域図



 … 重点区域
(歴史的風致維持向上計画)

 … 特別用途地区
(都市計画法)

法隆寺周辺地区特別用途地区

法律面での課題

- 法隆寺周辺地区は「第一種低層住居専用地域」に指定（都市計画法）
- 単独店舗や旅館などの建築ができない
- 建築物の用途変更ができない

「特別用途地区」を指定

● 現行の用途

- ① 飲食店
⇒ 50㎡以下の店舗兼用住宅
- ② ホテル・旅館
⇒ 立地不可



● 緩和後の用途

- ① 物品販売店・飲食店等
⇒ 250㎡以下の単独店舗
- ② ホテル・旅館・博物館・観光案内所等
⇒ 1,500㎡以下



これまでの取り組み

修景支援事業

【斑鳩町まちなか観光景観形成事業】

平成26年度から、法隆寺をはじめとする世界文化遺産が存在する本町の魅力ある歴史的な町並みの維持を図りながら、観光まちづくりを推進するために、それらを目的とする建築物及びそれに付属する外構の修景整備を行う者に対して補助金を交付。

- ・補助対象区域：斑鳩町歴史的風致維持向上計画における重点区域内
- ・社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）を活用

実績

平成26年度：2件 平成27年度：7件 平成28年度：6件
（うち、店舗：1件） （うち、店舗：2件）

これまでの取り組み

修景支援事業による施工事例（店舗）

● カフェレストラン（平成26年度）

外観（修景整備）

国土交通省所管
街なみ環境整備事業



内装・設備

総務省所管
地域経済循環創造事業交付金



これまでの取り組み

修景支援事業による施工事例（店舗）

- カフェ・チャレンジショップ等の複合店舗（平成27年度）

外観（修景整備）

国土交通省所管
街なみ環境整備事業



内装・設備

総務省所管
地域経済循環創造事業交付金



これまでの取り組み

修景支援事業による施工事例（店舗）

- パン屋（平成27年度）



施工前



施工後

これまでの取り組み

修景支援事業による施工事例（個人宅）

- 法隆寺1丁目地内（平成26年度）



施工前



施工後

これまでの取り組み

文化継承

【斑鳩小学校能楽金剛クラブ】

平成16年に、「能楽金剛クラブ」が発足。

「能楽」の「金剛流」の発祥地が斑鳩小学校区内にあり、特に優美で勇壮な特徴を持つ金剛流の、魅力ある仕舞を見につけ、多くの人に能の魅力を知っていただくために、日々稽古にはげんでいる。



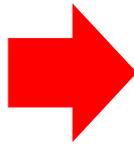
これからの取り組み

道路美装化事業

法隆寺南大門東側の三町地区に位置する町道をはじめとした、歴史的佇まいが色濃く残る集落に位置する道路を、町並みと調和した歩きやすい舗装とし、回遊性を高め、良好な市街地環境を促進する。



現状



整備イメージ（自然色舗装）

これからの取り組み

電柱類景観改善事業

歴史的佇まいが色濃く残る道路（三町地区に位置する町道など）を中心に、無電柱化等電柱類の景観改善を行い、電柱類のない町並みを実現し、歴史的町並みが生かされた歩行者ルートを整備する。



現状

これからの取り組み

案内板等整備事業

これまで様々な事業で案内板や案内サインの設置に取り組んできたが、その誘導システムを見直し、加えてまちなかの回遊性の向上に必要な、わかりやすく、歴史的町並みに調和するデザインの案内板、案内サインを整備する。



整備イメージ

「歴史まちづくり」に期待する効果とは？

- 景観改善・維持・活用
- 交流人口の拡大



ご清聴ありがとうございました。